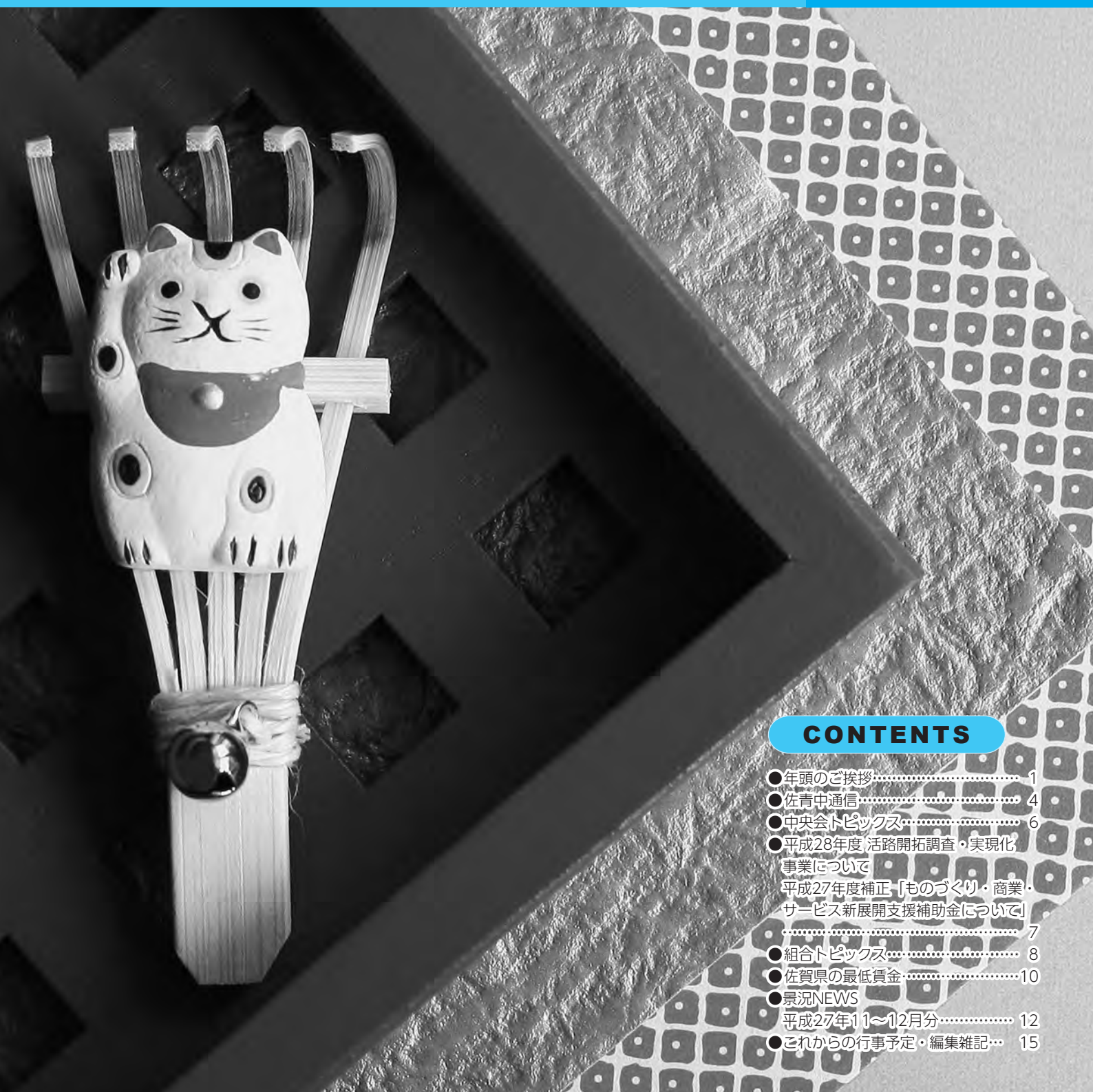


Link

COMMUNICATION NETWORK FOR MEMBERS

2016. 2

NO. 213



CONTENTS

- 年頭のご挨拶..... 1
- 佐青中通信..... 4
- 中央会トピックス..... 6
- 平成28年度 活路開拓調査・実現化事業について
平成27年度補正「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金について」..... 7
- 組合トピックス..... 8
- 佐賀県の最低賃金..... 10
- 景況NEWS
平成27年11～12月分..... 12
- これからの行事予定・編集雑記... 15

中小企業団体中央会は、各都道府県に一つ設置された47の都道府県中央会と、中央に全国中央会があり、中小企業等協同組合法に基づき、中小企業組合の連携支援機関として設置されている団体で、組合等を会員として、国・県の助成金等により運営され、組合及び中小企業の健全な発展を図ることを目的としています。

佐賀県中小企業団体中央会の主な事業は次のとおりです。

1 支援事業

- 組合設立 中小企業の組織化に関する一切の支援
- 窓口相談 組合並びに組合員の運営・経理・労働・金融・税務・情報化等の相談
- 巡回相談 指導員の巡回による組合運営等の支援
- 労働相談 労働問題全般についての支援
- 個別専門指導 弁護士・公認会計士・税理士・中小企業診断士・各コンサルタント等の専門家による指導

2 金融の相談・あっせん

- 金融あっせん 商工中金をはじめ政府系金融機関等への事業資金の融資相談
- 共同施設設置相談 中小企業高度化資金の導入指導等
- 制度金融の相談 組合共同事業資金等の県の各制度資金等の相談

3 教育・情報提供事業

- 講習会・研修会の開催
- 情報の提供
- 教育器材の貸出
- 情報連絡員の設置

4 調査・研究事業

- 各種実態調査
- 研究会等の開催
- 各種委員会・懇談会の開催

5 組合助成事業

- 中小企業連携組織等支援事業
- 組合等の情報化対策事業
- 小企業者組織化指導事業……以上の事業の経費に対する助成

6 共済事業

- 中小企業倒産防止共済制度
- 特定退職金共済制度
- 総合保障共済制度
- 企業年金保険制度
- 所得補償制度
- 中小企業オーナーズプラン
- 中小企業PL保険制度
- 火災共済制度
- 自動車事故見舞金共済制度
- 個人情報漏えい賠償責任保険制度

7 青年部活動

- 中小企業青年経営者・後継者の資質の向上のための研修会の開催やそれに対する助成

8 建議・表彰・親睦・その他

- 中小企業対策の強化・推進のために国・県等に対する建議陳情
- 事業運営の優秀な組合及び功労役職員の表彰、国・県に対する表彰者の推薦

組合ホームページ探訪

「九州佐賀国際空港」

アドレス:www.pref.saga.lg.jp/web/kurashi/_1261/kk-koutuu/ariakesaga-ap.html



1月16日、佐賀空港の愛称が、これまで親しまれてきた有明佐賀空港から「九州佐賀国際空港」に変更になりました！インバウンドを筆頭とした地域産業のハブ空港として、国際的にもますます重要な役割を果たしていく九州佐賀国際空港を積極的に応援していきましょう！

新名称に伴って作られた、おしゃれな新しいロゴなど、ホームページをご覧ください。

(なお、愛称が変更されてもマスコットキャラクター「むっぴー」は健在の模様。ファンも安心ですね。)

年頭のご挨拶

佐賀県中小企業団体中央会
会長 内 田 健



2016年の年頭に当たり、組合をはじめとする中小企業連携組織の皆様並びに中小企業の皆様のご健康とご繁栄をお祈り致しますとともに謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと、佐賀県ではまず古川県政から山口県政への交代がありました。

また、有明海の干潟がラムサール条約に登録され、それに続き三重津海軍所跡が世界遺産に登録されました。

経済面では、我が国経済は政府の月例経済報告では1月から12月まで、連続して「景気は、緩やかな回復基調が続いている。」と報告されてきました。

現在、株価は年明けから上海株の急激な下落によって世界的に株安が広がり、不安定な状況にありますが、昨年の日経平均株価は4年連続して上昇し、円相場は4年連続下落した状況でありました。

このような中、上場企業の稼ぐ力が一段と高まっていると言われ、上場企業の本年3月期の経常利益額は、最高となると言われています。

政府では、昨年9月「アベノミクスは第2ステージに移る」と宣言し、新三本の矢として、「希望を生み出す強い経済」、「夢を紡ぐ子育て支援」、「安心につながる社会保障」を打ち出し、2020年に向けた経済成長のエンジンと位置づけられました。

これに基づき、中小企業対策費1,825億円を含む28年度一般会計予算として、96兆7,200億円を決定されています。

また、平成27年度補正予算として「ものづくり補助金」1,020億5千万円を計上されました。この事業の推進を行ってききました中央会としては、大変ありがたいことと感謝しているところであります。

昨年10月、T P Pの大筋合意がなされました。政府では、12月にその経済効果分析を発表されました。実質GDPは2.6%増、約14兆円の拡大効果が見込まれ、労働供給は約80万人の増加が見込まれると発表されています。

中小企業としても、これに積極的に対応して、企業活動の拡大のチャンスとしていかなければならないと考えています。

このような状況下、本会では会員及びその所属企業に対し、事業の中心である「中小企業連携組織対策事業」を推進すると共に、中小企業の多様なニーズに対しては、国・県の施策を導入して支援活動を行ってまいりました。

特に本年度は、「ものづくり補助事業」、「外国人技能実習事業」等の中小企業再生に向けた取組を推進しているところであります。

また、佐賀県からの委託による「U J I ターン者受入企業支援事業」、「若年者人づくり事業」、「産業人材ステーション事業」等の広範な雇用対策事業を実施し、企業の活性化を支援しているところであります。

本年は、リオデジャネイロ・オリンピック、パラリンピックが開催されます。これまでオリンピック開催の年は、景気が上向くと言われてきました。

また、県内では県下最大の地場産業である有田焼が創業400年を迎え、種々のイベント・プロジェクトが推進されています。これを契機として、有田焼業界の再生の動きが力強いものとなり、延いては県内景気を浮揚させ、経済の振興・発展を図る機会となることを期待しています。

今年は、60年ぶりの「丙申年」であります。

この年は、「実が固まってきて明らかになる」、「活動が、成果として形となって表にでてくる」年回りと言われています。

このことから本年は、皆様方のご努力が実を結び、確実な成果が現れて、名実共に「明るい一年」となることを祈念して、年頭のご挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶



全国中小企業団体中央会
会長 大村 功 作

明けましておめでとうございます。平成28年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年6月に会長に就任後、初めて迎える新年であります。新会長として半年間を振り返りますと、消費増税後の内需低迷の長期化に加え、中国経済の停滞による外需の減退により、多くの中小・小規模事業者は、昨年も景気回復の実感が得られない厳しい年でした。また、消費税の複数税率制度の導入やTPP（環太平洋パートナーシップ協定）の大筋合意など、中小・小規模事業者を取り巻く事業環境は、急速な変革を迎えることとなりました。

政府は、新たに「新・三本の矢」を掲げるとともに、サービス業の生産性向上に向けた数値目標を設定するなど、「地方創生」「一億総活躍社会」の実現に向けて様々な政策の推進を図っています。

こうした中、昨年11月20日に沖縄県宜野湾市の沖縄コンベンションセンターで開催した第67回中小企業団体全国大会では、中小・小規模事業者が連携・組織化を一層推し進め、IT投資や省力化投資を促進し、生産性の向上の担い手と地方創生の牽引役となること等の宣言をいたしました。

明けて平成28年こそは、全国の中小・小規模事業者が「稼ぐ力が付いたと実感できる年になることを強く期待しています。そのためには、生産性の向上によって利潤の獲得と内需・消費拡大を進め、地域資源や農工商連携の促進、TPPの活用を踏まえた海外展開や観光関連産業間の連携強化など攻めの経営力強化と人材の育成・確保について、組合をはじめ中小・小規模事業者が「群となって積極的に取り組んでいく必要があります。

まもなく、東日本大震災発生から5年となりますが、被災県の復興はまだ道半ばという状況です。復興の加速化に向け中央会の持つ組織・人的ネットワークをフルに活用して、最大限の支援の継続を行って参ります。本会は、今年創立60周年を迎えます。多くの先人のご努力によって培ってきた全国中央会の運営に携われることを誇りに、「団結は力、見せよう組合の底力」の具現化に向けて邁進して参ります。

本年が、中小・小規模事業者が持ち前のバイタリティを大いに発揮し、良き1年となりますことをご祈念申し上げまして、年頭に当たってのご挨拶とさせていただきます。

平成28年元旦

年頭のご挨拶

株式会社 商工組合中央金庫
代表取締役社長 杉 山 秀 二



平成28年の新春を迎えるにあたり、所感の一端を申し述べて年頭のご挨拶とさせていただきます。

まず、昨年のわが国経済を振り返りますと、海外経済の減速が国内に波及し、景気回復は緩慢なものとなりました。中小企業の景況感を当金庫の「中小企業月次景況観測」で見ますと、景況判断指数は好転・悪化の境目となる50手前での動きが続き、持ち直しに停滞感がみられました。

具体的には、日本銀行による金融緩和の継続や、雇用環境の改善が成長を下支えしましたが、新興国経済の不透明感から輸出の伸び悩みや国内生産活動の停滞につながりました。また、一部の業種では円安に伴う仕入価格の高止まりや、労働需給の逼迫による人件費負担の増加などもあり、景況感の回復に遅れが生じました。

このような環境のもと、商工中金は第三次中期経営計画の初年度として、東日本大震災からの復旧・復興に取り組む中小企業の皆さまや、原材料高・エネルギーコスト高の影響により当面の資金繰りに不安を抱える中小企業の皆さまに対し、危機対応業務を中心に、組織をあげてセーフティネット機能の発揮に取り組んでまいりました。そして、こうした取り組みを通じて、地域の雇用維持・経済の安定に貢献できるよう努めてまいりました。

中小企業の皆さまの企業価値向上に関しては、ものづくり補助金の情報提供等、国の設備投資促進のための施策と連携するとともに、地域金融機関と協調しながら、地域経済への波及力が高い中核企業に対する「地域中核企業支援貸付制度」や戦略的な海外展開を行う中小企業に対する「グローバルニッチトップ支援貸付制度」により、リスクマネーを供給してまいりました。

再生支援については、各支援機関との連携を一層強化し、能動的かつ抜本的な再生支援を行う他、業況が改善しているお取引先に対して、金融取引の正常化とその後の成長支援に取り組んでまいりました。

商工中金としては、引き続き皆さまからのご相談に対して、懇切、丁寧かつ迅速な対応に努め、セーフティネット機能の発揮に全力を挙げて取り組んでまいります。また、商工中金の強みであるネットワーク機能、総合的な金融機能を結集し、グループ一体となって中小企業と中小企業組合の皆様の成長、再生支援等に全力で取り組みます。こうした取り組みを、地方公共団体、地域の金融機関等の地域の各機関と幅広く連携しつつ、地域の面的なものにつなげ地域経済の活性化に貢献してまいります。

そして、「中小企業の、中小企業による、中小企業のための金融機関」として、これまで以上に皆さまから信頼され、お役に立てるよう、役職員一同、全力で努力を続けてまいりますので、今後とも格別のご指導とお引き立てを賜われますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆さまのご繁栄とご健勝をお祈りいたしましてご挨拶といたします。

佐賀県友好青年5団体会員交流会を開催！

去る12月15日（火）、佐賀県友好青年5団体（事務局：佐賀県中小企業青年中央会（佐賀UBA））による、標記交流会が佐賀市「ホテルマリターレ創世」にて開催されました。



佐賀県中小企業青年中央会（佐賀UBA）、佐賀県商工会議所青年部連合会（YEG）、佐賀県商工会青年部連合会（IMPULSE）、公益社団法人日本青年会議所（JC）、佐賀県農協青年部協議会（JAYOUTH）の5団体から総勢約100名の参加者が会場に集い、本会舘上会長による開会の挨拶の後、

16時10分より山口祥義佐賀県知事をお招きした「基調講演」、それに引き続き、知事と5団体の長及び会場の青年部員らによる「意見交換会」が行

われました。
「地方創生について」をテーマとした基調講演の中で知事は、人口減少時代に佐賀県をど



▲山口知事の基調講演



▲舘上会長挨拶

う活性化させるかに関して、「子育てしたい県」「本物と触れ合える県」「雇用の確保」「自発的地域づくり」の四本柱を「総合戦略」として掲げ施策を実施していくこと、「外部からの視点」でみると魅力がたっぷりの佐賀県民としては、「佐賀はな〜んもなか」という事だけはやめて、一人一人が佐賀のセールスマンとなって欲しいということ、地理的にみて、佐賀は関東言えば神奈川（横浜）ポジションを狙えるはずであること、佐賀県は14歳以下の子供の数が多く、さらにこの環境を持続していくために、男性の家事育児チャレンジなどライフデザ

イン（生活のあり方）の見直しをし、佐賀県を子育てのしやすい県として人口増を図っていく事、佐賀県に住んで良かったと思える地域づくりの為の施策として、就任後「さが段階チャレンジ交付金」など新たな地域活性化施策を実施した事などを話されました。最後に、地域活性化で大切にすべき

8つのポイントとしてご自身の経験から導き出した「Ⅰ地域に誇りを持つことがスタート」「Ⅱ楽しむことがすべての原点 かなうものなし」「Ⅲ任せることが達成感への第一歩」「Ⅳやってみないとわからない 前に出よう」「Ⅴ失敗を恐れるな 失敗こそが成功の元」「Ⅵ小さな成功が達成感になり 自信になり 歩みは続く」「Ⅶひとりひとりが主役 皆が名人」「Ⅷほめて喜んで感動して・・・分かち合えたら幸せの連鎖が始まる」の言葉を提示し、自分も知事に就任した時はギリギリ40代だったが、若い世代の活躍がこれからの佐賀県を作る、ともに佐賀を作っていきましょうと会場に向かって熱く呼びかけられ、会場万雷の拍手の中で基調講演を終えられました。基調講演終了後「意見交換」が行われ、各団体青年部の長から知事に対してそれぞれ質問が出され、佐賀県をめぐるホットな 이슈に関する質問や、教育、家庭のあり方などさまざまな分野の質問に知事からのアドバイスをいただきました。この後記念撮影を挟んで懇親会が開催され、山口知事も懇親会にまでご参加いただき、更なる交流を深めることができました。

会員限定映画試写会開催！

去る12月3日（木）、佐賀UBAが主体となり友好青年5団体の共同イベント事業として、所属会員約4,000名を対象とした会員限定の第2回映画試写会を109シネマズ佐賀にて実施しました。本事業は、昨年1月15日に映画「アゲイン 28年目の甲子園」の試写会を実施し好評を博した企画で、試写会に参加した会員の皆様による継続を望む声が多かったことから青年5団体の事業として正式に実施する事となったもので、友好青年5団体から184名の参加をいただきました。

今年の試写会は『海難1890』。世界に親日国は多いですが、その一つであるトルコ共和国が、地理的にも遠い異文化の国であるにも関わらずどうして親日国であるのか。その秘密のひとつである、エルトゥールル号の遭難事件という史実を基に製作された日本・トルコ合作映画で、この冬の話題作の一つです。

史実を基にしたという事もあり、映画を見た会員からは、「日本にこんな歴史があったとは知らなかった」「とても勉強になりました」「言葉は通じなくとも人の心は同じ」という感動の声とともに、「また企画があれば試写会に参加したい」等の感想をいただきました。

当日ご参加いただきました本会会員の皆様、ありがとうございました。

来年度以降もさまざまな交流企画を実施していく予定ですので、青年中央会とともに友好青年5団体の事業にも是非積極的な参加をお願いします。



佐賀県中小企業青年中央会（佐賀UBA）

会 長 洲上史貴（佐賀青果食品（協）青年部長、（有）洲上青果代表取締役）
会員数 36名

佐賀県中小企業青年中央会（佐賀UBA）は、県内経済の次代を担う中小企業組合の青年経営者、若手後継者等の育成を主な目的として昭和51年に結成されました。現在、単なる後継者育成事業に留まらずに、互いに交流を深め意見を交換しながら、業種の垣根を超えたビジネスの創出、ビジネス・マッチングによる新しい経済活動の創出を目指し活動しています。本会の趣旨に賛同していただける未加入の組合青年部がございましたら、是非加入をご検討ください。

お問い合わせは事務局0952-23-4598（中央会内）まで。

● 成果事例発表会を開催 ●



▲ 図表や豊富な事例を交えて話される高本社長

本会は、去る11月27日（金）、佐賀市「ロイヤルチェスター佐賀」にて、「佐賀のものづくりの未来を語る」をテーマに平成24年度ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金「成果事例発表会」を開催しました。

プログラムでは、まず基調講演として、国内最大にして商業ベースで成功している唯一の総合ロボットメーカー「株式会社テムザック」（北九州市）の創業者である高本陽一氏をお招きし、「役立つロボットを目指して」と題してお話を頂きました。

高本氏は、まず「ロボット分野」という、産業においてはまだまだ未知数であり、ともすると一見荒唐無稽とも思われ

そうな分野に取組む事になった経緯についてお話をされました。それは、元々工場ラインの製造メーカーだった同社を先代から引き継いだ後に、事業を整理していく中で、自社が有していた既存技術を使ってたまたま作った受付ロボットが社外の方の目に留まって、「こんなロボットが造れないか」と相談を持ちかけられた「偶然」から始まった事業だったそうで、90年代終わり頃、日本には産業用ロボットを除く、一般社会を対象としたロボットの市場すら存在しない中で、試作開発を繰り返し、試行錯誤しながらマーケットに訴えかける製品を作り、市場を創出してきたテムザックの歴史を、さまざまな写真やビデオ、エピソードをまじえてお話になられました。紹介された試作品の中にはさまざまな画期的なロボットがあり、今すぐにでも製品化すればヒット商品となりそうなものも数多くありましたが、それらが簡単に製品化出来ない理由として、日本社会の法規制の厳重さを理由に挙げられました。たとえば、足の不自由な人の為に、筋力を補助し作動するようなパワードスーツ型のロボットを作っても、医師の診断の下に使用するような形をとると「医療器具」扱いとなり、医師の許可なしには勝手に着脱出来ないものになってしまう、それではとても気軽に日常生活では使えないだろう等の事例を挙げられ、「これでは「役立つロボット」とはほど遠いものとなるでしょう。私達は、ロボットが本当に人々の役に立つ社会の実現を目指しているのです。」と決意を語られていました。

現代の日本社会では様々な法規制によって実社会で性能テスト等を行う実験を行うことすら難しく、従って、現在はそうした規制が比較的緩い海外で、政府機関などをパートナーとした実用化実験を進める方向にシフトしているとお話されました。また、最近では、国内企業との共同開発も増えて来ており、クライアントとの関係でお話できない案件があるとの事で、この15年やってきた事がようやく実りつつあり、経営も黒字化できるようになった等の裏話をお話いただきました。

また、近い将来ドバイにロボットの研究開発拠点を置く計画を進めており、今回本事業で佐賀を訪れて、佐賀県にもたくさんの高度な独自技術を持った「ものづくり企業」がある事を知ることが出来てよかった、テムザックが海外進出するにあたって、同じ九州のメーカーとして、是非一緒に海外に打って出るパートナーとしての仕事が出来れば、嬉しく思うとお話され、場内万雷の拍手とともに講演会は終了、来場者からも大いに刺激を受けたとの感想が聞かれました。



▲唐津化成株式会社 遠藤俊明社長

基調講演の後、平成24年度ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金で試作開発に取り組んだ県内2社からの事例発表が行われました。まず「唐津化成株式会社」（唐津市）代表取締役遠藤俊明氏より「中子を利用した射出成形によるアンダーカット・中空形状のプラスチック製品の試作・開発」に関して、次いで「佐賀県陶磁器工業協同組合」（有田町）の専務理事、百武龍太郎氏から「3DCAD、CAMを活用した陶磁器製作支援技術の構築」をテーマとした研究開発の概要に関してそれぞれ発表をいただきました。このうち遠藤氏からは試作開発の予算を組む事が容易ではない中小企業にとって、本補助金は非常にありがたいものであったとのお話をいただきました。なお、平成28年度も『平成27年度補正予算事業「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」』として同様の補助事業の実施が予定されています。詳細が決定次第随時お知らせいたします。



▲佐賀県陶磁器工業（協）
百武龍太郎専務理事

平成28年度 活路開拓調査・実現化事業について(予定)

全国中小企業団体中央会の補助金です。本事業への取り組みをお考えの組合等は、一度本会までご相談ください。

補助事業名	内 容	補助金額	応募締切
中小企業組合等 活路開拓事業 (一般活路)	中小企業者が、共同して新たな活路を見出す為に実施するビジョン作成やその具体的事業化に対し助成(※)	補助対象経費の6/10以内 最高 11,588 千円 最低 1,000 千円を限度	3月下旬
中小企業組合等 活路開拓事業 (展示会)	中小企業者が、共同して販路拡大のために、新製品及び新技術を展示会等に出席する事業に対し助成(※)	補助対象経費の6/10以内 1,200 千円を限度	
組合等情報ネットワーク システム等開発事業	組合を基盤とした組合員向け情報ネットワークシステム等の構築に対し助成	補助対象経費の6/10以内 11,588 千円を限度	3月下旬

※補助率・補助金額は過年度分です

■補助対象組合

①事業協同組合 ②事業協同小組合 ③火災共済協同組合 ④信用協同組合 ⑤協同組合連合会 ⑥企業組合 ⑦協業組合
⑧商工組合(同連合会) ⑨商店街振興組合(同連合会) ⑩生活衛生同業組合(同連合会) ⑪社団法人(特例民法法人)
⑫一般社団法人・公益社団法人 ⑬共同出資会社 ⑭LLP ⑮任意グループ

※補助金額・補助率・募集予定数の数字については「予定」のものです。全国中小企業団体中央会より正式に発表され次第、改めてご案内いたします。

詳細は本会までお問い合わせいただくか、全国中小企業団体中央会ホームページ(<http://www.chuokai.or.jp/>)からご確認ください。応募に関して、それぞれ期限や条件等がありますので、必ずご確認ください。

■問合せ先 佐賀県中小企業団体中央会 TEL 0952-23-4598/FAX 0952-29-6580
全国中小企業団体中央会ホームページ <http://www.chuokai.or.jp/>

平成27年度補正「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」

去る1月20日、参院本会議にて平成27年度補正予算が可決・成立しました。このうち、経済産業省関連補正予算案の中に「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」が、予算総額 1,020.5億円で盛り込まれております。

予算成立を受け、1月26日、全国中小企業団体中央会が事務局と決定しました。間もなく公募がスタートいたしますが、公募要領等の詳細は分かり次第、後日改めて本会ホームページ等で情報提供いたします。つきましては、応募をご検討される方は、前年度までの資料等をご参考にお早めにご準備ください。

ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金

平成27年度補正予算案額 1020.5億円

中小企業庁 技術・経営革新課
03-3501-1816

事業の内容	事業イメージ
事業目的・概要 ● 国内外のニーズに対応したサービスやものづくりの新事業を創出するため、認定支援機関と連携して、革新的なサービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行う中小企業・小規模事業者の設備投資等を支援します。	1. 革新的サービス・ものづくり開発支援(補助率 2/3) (1) 一般型 補助上限額:1,000万円 中小企業が行うサービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善に必要な設備投資等を支援。 (例) 医師のトレーニング用胸部骨格モデルの開発。 人体の構造の再現度を高めるため、3D技術を活用した試作品製作を行うための設備投資を支援。 ※複数社による共同事業は、企業数に応じて補助上限額を引上。 (共同事業の補助上限額:個社の補助上限額×5社) (2) 小規模型 補助上限額:500万円 小規模な額で行う革新的なサービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を支援。 (例) 高齢者世帯とその家族等をつなぐシステムをクラウド上に構築。 高齢者の生活データを蓄積・解析することで、暮らしに配慮した見守り体制を構築する。
成果目標 ● 事業終了後5年以内に事業化を達成した事業が半数を超えること。	2. サービス・ものづくり高度生産性向上支援(補助率 2/3) 補助上限額:3,000万円 IoT等の技術を用いて生産性向上を図る設備投資等を支援。 (例) 新たに航空機部品を作ろうとする中小企業が、既存の職人的技能をデータ化すると共に、データを用いて製造できる装置を配置。 ※1. 2. 共通 ・給与総額増の取組は加点。 ・TPP加盟国等への海外展開により海外市場の新たな獲得を目指す取組は加点。
条件(対象者、対象行為、補助率等) ● 認定支援機関の全面バックアップを得た事業を行う中小企業・小規模事業者であり、以下のいずれかに取り組むものであること。 1. 革新的サービス・ものづくり開発支援 「中小サービス事業者の生産性向上のためのガイドライン」で示された方法で行う革新的なサービスの創出・サービス提供プロセスの改善であり、3～5年で、「付加価値額」年率3%及び「経常利益」年率1%の向上を達成できる計画であること。または「中小ものづくり高度化法」に基づく特定ものづくり基盤技術を活用した革新的な試作品開発・生産プロセスの改善を行い、生産性を向上させる計画であること。 2. サービス・ものづくり高度生産性向上支援 上記1.の革新的なサービス開発・試作品開発・プロセス改善であって、IoT等を用いた設備投資を行い生産性を向上させ、「投資利益率」5%を達成する計画であること。	



参考: 中小企業庁HP<平成28年度予算関連事業/平成27年度補正予算関連事業> <http://www.chusho.meti.go.jp/hojyokin/index.htm>

佐賀県陶磁器工業協同組合・肥前陶磁器商工協同組合 新春新作展示会開催！



去る1月7日(木)、8日(金)の二日間にわたり、有田町「焔の博記念堂」をメイン会場として、有田町内、武雄市にある窯元展示場の合計17会場で、佐賀県陶磁器工業協同組合(原田元理事長)と肥前陶磁器商工協同組合(木原長正理事長)共催による有田焼の新春新作展示会が開催されました。

有田、伊万里、武雄、嬉野各地の窯元76社が、それぞれに工夫を凝らし、また技術の粋を尽くして製作した美しい新商品をそれぞれディスプレイに工夫をこらしてブースに展示。当日は、県内を中心とした組合員商社やその取引商社等の担当者ら、いわば陶磁器の目利きともいうべき人達が続々と会場を訪れて、それぞれのブースで窯元の主人らから話を聞きながら、次々に注文をする姿がみられました。

肥前陶磁器商工協同組合の藤雅友専務理事は「例年に比べても来場者が多いようだ、今年は業況が更に上向くように期待したい」と感想を述べられていました。



出展した窯元からは、「これまでも年に2回新作展示会を行っているが、今回初めての試みとして、ブースの間の壁を取り払い、会場を見渡せるような開放的なレイアウトになった。その結果、商社さんが馴染の窯元のブースに直行するだけだったこれまでと比べて、より多くの窯元の商品を見ていただけるようになり、場内に活気がでているようだ」とのお話が聞かれました。



中央会ブース出展！



有田焼新春新作展示会に、佐賀県中小企業団体中央会も出展しました。

展示会来場者・出展者の組合員寮元・商社に対して各種支援施策のPRを目的に、新たな試みの一つとして、「支援機関」のPRブースが設けられ、その中で中央会もブースを出させていただきました。

中央会ブースでは、(1) 中央会とはどのような組織かという事を広報する、(2) 中央会の補助事業を広報する、の二つを目的としました。(1)に関しては、

デモンストレーション用のパワーポイントのスライドショーを用意、会場の入り口から導線に沿って来場されてきた来場者の中で、本会ブース前で立ち止まられた来場者に対してパンフレットを手渡す等のPRを行いました。(2) に関しても同様にブースでの対応を行いながら、会場内で組合関係の方に対して、中央会ブースを出している事をお話し、誘導を促すなどして広報する事ができました。

【セミナーご案内】

経営者・後継者のための事業承継セミナー

独立行政法人中小企業基盤整備機構では「経営者・後継者のための事業承継セミナー」を全国47都道府県で開催しています。本セミナーでは「事業承継対策がなぜ必要なのか?」「事業承継対策のポイント」等を経営者・後継者向けに分かりやすくお伝えいたします。

佐賀県での開催は以下の日程・会場のとおりです。事業承継が現実的なタイムスケジュールとなっている県内企業の皆様のご参加をお待ちしております。

- <日 時> 2月9日(火) 13時～17時(受付:12時30分～)
- <会 場> 佐賀市民会館(佐賀市水ヶ江1-2-20)
- <参加対象者> 中小企業・小規模事業者の経営者ならびに後継者等
- <定 員> 15名 ※先着順、定員に達し次第締め切らせていただきます。
- <参 加 費> 無 料
- <主 催> 独立行政法人 中小企業基盤整備機構
- <申込方法> 下記ホームページまたはFAXにてお申込みください。

<https://27jss.smrj.go.jp/>

(申込書はホームページよりダウンロードできます)

<申込み・問合せ>

事業承継セミナー事務局(担当:須藤・広川)

T E L : 03-3478-5060 F A X : 03-5413-0554

受付時間: 平日10:00～17:00(土・日・祝日、年末年始を除く)

E-mail: 27jss@wm.smrj.go.jp

佐賀県で働くすべての方へ。意識したことがありますか？

佐賀県の最低賃金

佐賀県内の使用者は、これらの最低賃金より低い賃金で労働者を使用することはできません。
最低賃金は、臨時工・パートタイマー・アルバイトにも適用されます。

1 地域別最低賃金

件名	1時間	効力発生日	適用される産業
佐賀県 最低賃金	694 円	平成27年 10月4日	佐賀県内の全ての産業 (ただし、2「特定(産業別)最低賃金」が適用される産業を除く。)

2 特定(産業別)最低賃金

件名	1時間	効力発生日	適用される産業
一般機械器具 製造業関係	795 円	平成27年 12月25日	ポンプ・圧縮機器製造業、一般産業用機械・装置製造業(冷凍機・温湿調整装置製造業を除く。)、その他のはん用機械・同部分品製造業、農業用機械製造業(農業用器具を除く)、建設機械・鉱山機械製造業(建設用ショベルトラック製造業を除く。)、生活関連産業用機械製造業、基礎素材産業用機械製造業、金属加工機械製造業、半導体・フラットパネルディスプレイ製造装置製造業、その他の生産用機械・同部分品製造業、これらの産業において管理、補助的経済活動を行う事業所又は純粋持株会社
電気機械器具 製造業関係	760 円	平成27年 12月24日	発電用・送電用・配電用電気機械器具製造業、産業用電気機械器具製造業、電球・電気照明器具製造業、電池製造業、その他の電気機械器具製造業、通信機械器具・同関連機械器具製造業、電子計算機・同附属装置製造業、電子デバイス製造業、電子部品製造業、記録メディア製造業、電子回路製造業、ユニット部品製造業、その他の電子部品・デバイス・電子回路製造業、これらの産業において管理、補助的経済活動を行う事業所又は純粋持株会社
陶磁器・同関連 製品製造業	695 円	平成27年 12月26日	陶磁器・同関連製品製造業、当該産業において、管理、補助的経済活動を行う事業所又は純粋持株会社
右に掲げる者は、特定(産業別)最低賃金の適用から除外され佐賀県最低賃金の適用を受けます。			
①18歳未満又は65歳以上の者 ②雇入れ後6月未満の者であって、技能習得中のもの ③清掃又は片付けの業務に主として従事する者			

注1 賃金支払形態が「月給制、日給制、時間給制」に関係なく、1時間の金額が適用されます。

注2 最低賃金の対象となる賃金は、通常の労働時間、労働日に対応する所定内賃金に限られ、「賞与などの臨時的賃金」、「休日、時間外などの割増賃金」、「精皆勤手当」、「通勤手当(交通費)」及び「家族手当」は対象になりません。

企業の人事担当者の皆様へ

当センターでは

**人材の確保・従業員の再就職を
支援しています。**

事業の拡大・欠員補充等による
人員確保を行いたいとき

事業の整理・縮小等に伴い、
人員削減せざるを得ないとき

そんなとき、お気軽にご相談ください



安心と信頼のネットワーク

公益財団法人

産業雇用安定センター佐賀事務所

佐賀市駅南本町6-4 佐賀中央第一生命ビル10階

TEL0952-22-7163 FAX0952-27-9163

インターネットで最新の人材情報をどうぞ

<http://www.sangyokoyo.or.jp/>

景況NEWS

平成27年11～12月分

佐賀県内中小企業37業界の景況

中央会では、県内37業界より情報連絡員を委嘱し、毎月その業界の景況等についてご報告を頂いております。

ご報告いただいた平成27年11～12月分の景況は下記の傾向を示しています。

なお、全国中央会が取りまとめている全国の調査結果をご希望の方は本会までご連絡下さい。
全国中央会ホームページ (<http://www2.chuokai.or.jp/keikyou.asp>) からご覧いただけます。

11月、12月の傾向

(調査票取りまとめ：平成27年12月14日 情報連絡員総数37名：11月回答数34名：回答率91.9%、12月回答数32名：回答率86.5%)

今期（11月期）の景況調査結果について＜前月比＞DI（全業種）をみると、主要指標である「売上高」は、11月時調査結果ではプラスマイナス0.0、12月時の調査結果ではプラス28.1となり、11月に一旦落ち込みをみせたものの、12月時調査で回復を見せ、プラス推移を維持。「収益状況」に関してみると、11月時調査結果マイナス5.8、12月時調査結果でプラス6.2となり、トータルマイナスからプラスに転じた。「業界の景況」について見ると、11月時調査はプラスマイナス0.0、12月時調査結果ではプラス3.1となり、前期調査時（9-10月時）から4ヶ月連続の改善となった。

一方、今期の景況調査の結果について＜前年同月比＞DI（全業種）でみた場合、主要指標の「売上高」については、10月時調査結果は8.8、11月時調査結果はマイナス9.4となり、3ヶ月ぶりにトータルマイナスに陥った。一方「収益状況」に関してみると、11月時調査結果はマイナス11.8、と前月と比較してマイナス幅が拡大したが、12月時調査結果はプラスマイナス0.0となり、若干戻す結果となった。

「業界の景況」については11月時マイナス14.7、12月時調査ではマイナス15.7となり、傾向としては横ばいとなっている。（グラフ参照）

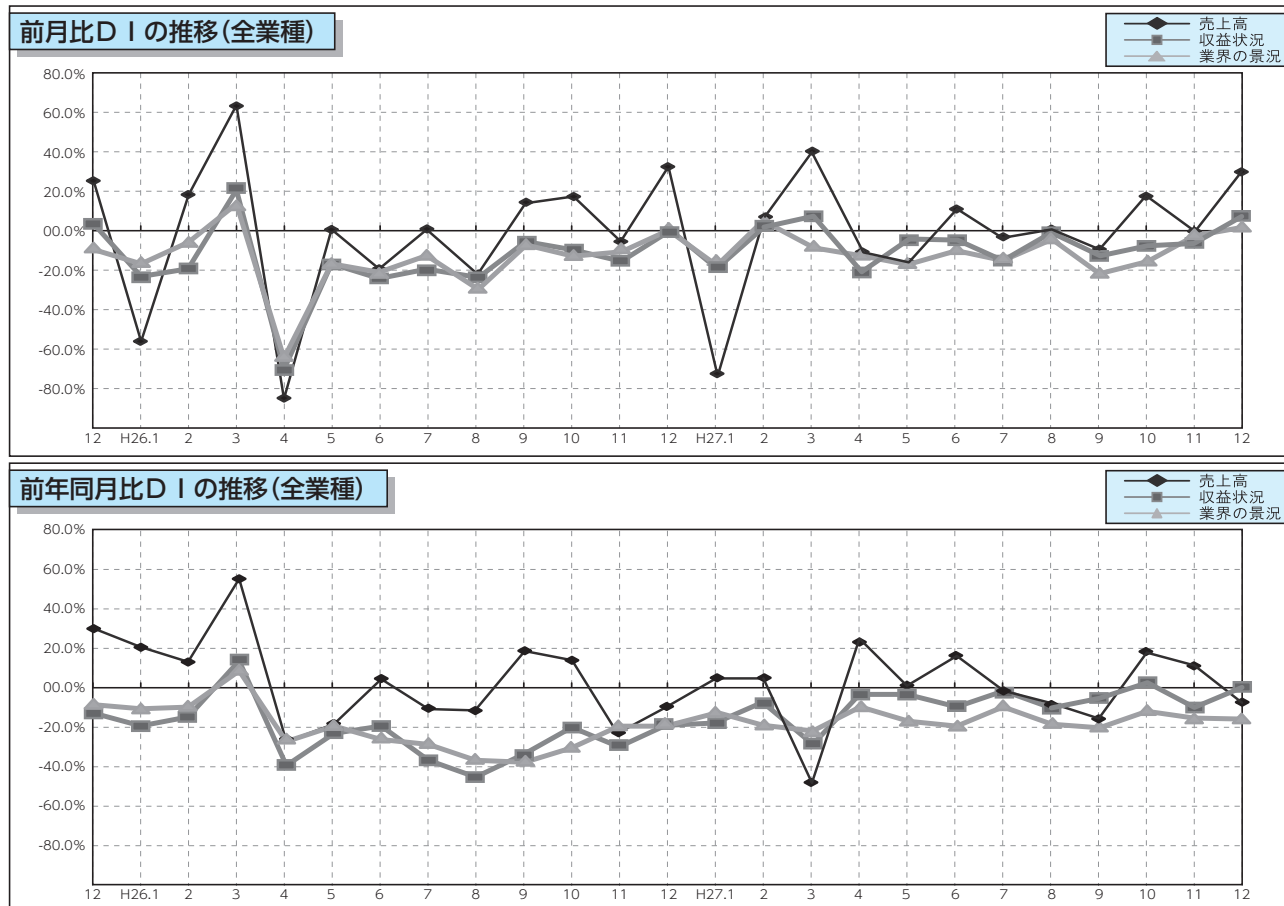
●DI[景気動向指数]値(全業種)

上段が11月分、下段が12月分

	前 月 比					前 年 同 月 比				
	↗	→	↘	DI	評価	↗	→	↘	DI	評価
売上高	29.4%	41.2%	29.4%	0.0%	Ⓜ	38.2%	32.4%	29.4%	8.8%	Ⓜ
[DI]=[増加]-[減少]	53.1%	21.9%	25.0%	28.1%	Ⓜ	34.4%	21.8%	43.8%	-9.4%	Ⓜ
在庫数量	13.0%	69.6%	17.4%	4.4%	Ⓜ	4.3%	74.0%	21.7%	17.4%	Ⓜ
[DI]=[減少]-[増加]	9.1%	72.7%	18.2%	9.1%	Ⓜ	9.1%	68.2%	22.7%	13.6%	Ⓜ
販売価格	8.8%	79.4%	11.8%	-3.0%	Ⓜ	17.6%	67.7%	14.7%	2.9%	Ⓜ
[DI]=[上昇]-[低下]	28.1%	68.8%	3.1%	25.0%	Ⓜ	21.9%	62.5%	15.6%	6.3%	Ⓜ
取引条件	0.0%	91.2%	8.8%	-8.8%	Ⓜ	5.9%	76.5%	17.6%	-11.7%	Ⓜ
[DI]=[好転]-[悪化]	0.0%	93.7%	6.3%	-6.3%	Ⓜ	3.1%	84.4%	12.5%	-9.4%	Ⓜ
収益状況	11.8%	70.6%	17.6%	-5.8%	Ⓜ	17.6%	53.0%	29.4%	-11.8%	Ⓜ
[DI]=[好転]-[悪化]	15.6%	75.0%	9.4%	6.2%	Ⓜ	21.9%	56.2%	21.9%	0.0%	Ⓜ
資金繰り	2.9%	82.4%	14.7%	-11.8%	Ⓜ	5.9%	79.4%	14.7%	-8.8%	Ⓜ
[DI]=[好転]-[悪化]	6.3%	87.4%	6.3%	0.0%	Ⓜ	9.4%	75.0%	15.6%	-6.2%	Ⓜ
設備操業度	13.3%	80.0%	6.7%	6.6%	Ⓜ	33.3%	53.4%	13.3%	20.0%	Ⓜ
[DI]=[上昇]-[低下]	33.3%	53.4%	13.3%	20.0%	Ⓜ	26.7%	60.0%	13.3%	13.4%	Ⓜ
雇用人員	2.9%	97.1%	0.0%	2.9%	Ⓜ	5.9%	91.2%	2.9%	3.0%	Ⓜ
[DI]=[増加]-[減少]	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	Ⓜ	6.3%	87.4%	6.3%	0.0%	Ⓜ
業界の景況	5.9%	88.2%	5.9%	0.0%	Ⓜ	11.8%	61.7%	26.5%	-14.7%	Ⓜ
[DI]=[好転]-[悪化]	15.6%	71.9%	12.5%	3.1%	Ⓜ	15.6%	53.1%	31.3%	-15.7%	Ⓜ

Ⓜ=良い (DI>30%)、Ⓜ=やや良い (30%≥DI>10%)、Ⓜ=変わらない (10%≥DI>-10%)
Ⓜ=やや悪い (-10%≥DI>-30%)、Ⓜ=悪い(DI≤-30%)

●DI（景気動向指数）値の推移



< 業 界 通 信 >

■佐賀県菓子工業組合 理事長 中原正博 氏

12月は気候温度の緩やかさもあり、全体的に菓子の売り上げは若干上昇傾向だった。年間のイベントの一つであるクリスマス関係は各洋菓子店において需要の増減もあり、総合すると通常より若干減少している感じだ。

菓子全体の需要は比較的堅調な動きをしているが、製造コストを含めた全体的なコストは、依然として高く、商品の見直し状況は続いている。

■佐賀県酒造協同組合 事務局長 大坪浩明 氏

12月は、酒造組合にとって平成27年の総まとめ『原料米』『海外輸出』『県産酒PR事業』の協議会が行われた。

特に『原料米』については、一番の課題だった山田錦の増産に佐賀県農産課の協力があり対処解決できたことが挙げられた。佐賀酒認定酒用、海外輸出用、今まで酒米不足で製造できなかったお酒等の増産に大きく影響する一歩前進の年だったと思います。

■佐賀県蒲鉾協同組合 事務局 三島和則 氏

昨年はどうにか年を越せたけど、昨年の消費税の支払いでどこの蒲鉾屋も厳しいという話を聞く。今年の為替の動向、来年の消費税10%によっては自主廃業するところも出て来る可能性もある。

■嬉野茶商工業協同組合 理事長 井上真一郎 氏

11月が暖冬月で、また12月に入ってから冷え込む日

が少なく御歳暮の動きは鈍かった。ここ数年御歳暮の売上は減少ぎみであったが、今年は暖冬という事もあって前年以上に落ち込みが酷かった。

量販店の茶売場、茶専門店の茶売場、茶専門店の進物の動きは毎年前年を下回るという状況で、抹茶、ティーパックの売上は上向きであるのに対して、進物・仏関係に使用する中級以上の緑茶の売上げが予想以上に落ち込んでいいる。当組合ではふるさと納税の返礼品としてさとふる会と連携して利用してもらっているが、この分の売上げは好調である。

■諸富家具振興協同組合 事務局長 林田 茂 氏

- ・売上高（前年対比）においては組合員の中で増加・減少も含めてバラツキが見られる。
- ・雇用人員は組合員の中で不変、減少同等位だが、全体としては減少傾向にある。
- ・同じように業界の景況も不変・減少同等位だが、全体としては減少傾向にある。

■佐賀県陶磁器工業協同組合 専務理事 百武龍太郎 氏

共販は前年比117%と好調だった。大手外食チェーン店の店舗数拡張に伴う受注を受けた商社の健闘が目立っている。400年本番の年に向け開発商品が数字となって少しでも貢献してくれることを切望する。

■肥前陶土工業協同組合 事務局 一ノ瀬秀治 氏

12月の陶土共同販売高は、対前年同月比107.7%、対前月比93.3%で推移する見込み。価格改定の影響もあり、プラスで推移してはいるものの、荷動き自体は前年同月を下回った感がある。今年は有田焼創業400年の該当年に当たる為、動きが活性化する事に期待している。

■肥前陶磁器商工協同組合 専務理事 藤 雅友 氏

前月比104.25%、前年対比94.82%。

5月からの連続前年対比100%超えが途絶えたのは残念である。年末の注文を生産体制の不備により需要に対応出来ず数字が伸び悩んだ面もある。業務用の動きも企業間格差はみられるものの動きとしては悪くない。

■佐賀青果食品協同組合 理事長 岩永敏機 氏

野菜は11月に気温が高く、適度の降雨で順調に生育して、入荷が増え12月前半は安くなった。後半は気温も下がり値上がりした。暖冬の為にいちごは生育が順調で、入荷量も多くクリスマスや年末も例年より安くなった。みかんやりんごは生育時に天候が不順だったので入荷量がやや少なく高くなった。干し柿も原料減と暖冬で出来が悪く、入荷減となり高値となった。バナナも不足気味で年末は高値だった。

正月用品のしめ縄や正月花など入荷は、年々入荷が減っているが、お節料理を自宅で作ったり、お飾りをする家が少なくなり、師走の活気がなくなって青果業界は元気がなかった。

■佐賀鮮魚買受人協同組合 理事 坂田重利 氏

気候の変動が激しく、入荷量が少なかった。イカ類に影響が見られた。年末商戦に関しては、カズノコ、エビ、カニ、特にタラバガニの入荷量が極端に少なかった。高値で購買力が落ちていた。家族で正月料理を作る事が薄れてきている様に見受けられる。

■佐賀県石油商業組合 専務理事 光武 繁 氏

原油下落により販売価格も値下がり。セルフスタンドではほとんど110円／ℓ前後に下落。販売数量は前月（11月）同様ガソリン、灯油が伸びず。特に暖冬で灯油の減販が酷かった。

■鳥栖本通筋商店街振興組合 理事 永瀬太郎 氏

H28.1月から値上がりの予想があり、先行購入があるかと期待していたが、元々から商品の動きが悪く、値上げとも重なり、買い控えが起きている。

時期的に飲食店は盛況であるようですが、客単価が年々低くなっている模様。

■佐賀県自動車整備商工組合 専務理事 保利昌宏 氏

会の上部団体である日整連は、平成27年7月時点の「整備需要等の動向調査」の集計結果を公表した。本調査は、自動車整備事業場における整備需要等の動向について、整備需要並びに整備料金等の直近6ヶ月間における実績及び向こう6ヶ月間の業績予想について調査し、今後の整備業界に役立てるために、半年毎に実施しているもので、概要は次のとおり。

1. 今期（H27年1月～6月）の総整備売上高DⅠ、総入庫台数DⅠは共に、前期に對し上昇。
2. 来期（H27年7月～12月）の業績予想では、前期予想に對し総整備売上高DⅠは上昇、総入庫台数DⅠは低下。
3. 整備業界全体の現在の景況感DⅠは、前回に對して上昇。

■佐賀県クリーニング生活衛生同業組合 理事長 坂本豊美 氏

ようやく冬気候となりましたが、衣類変えの季節になっても防寒着類が動く時代は終わりました。

今年よりクリーニングスタイルが少し変わります。組合員さん、非組合員さんに案内は出しますが、組合員増に結び付けば良いのですが。

■佐賀県美容業生活衛生同業組合 事務局長 石丸忠良 氏

売上高は前月、前年比ともに若干増加した。要因としてはボーナスの支給月でもあり客単価が上昇したことによるものと思われる。景況感については少し上向いたとの回答が出はじめたが、全体としては相変わらず悪いとの回答である。

■佐賀県建設工業協同組合 常務理事 川副健治 氏

平成27年12月の公共事業は、前年同月比では件数が19.9%の減、請負額においても23.2%の減となっている。また、12月までの累計においても、件数が対前年度比17.8%の減、請負額においては対前年比16.2%の減となっており、前年度比で今年度の落ち込みが大きくなっている。

一方、11月の住宅着工は、前年同月比は戸数では48.8%の増となっており、請負額は29.4%の増となっている。

■協同組合佐賀県鉄構工業会 事務局長 大坪一徳 氏

- ・業況…手持ち工事量は1ヶ月～5ヶ月、工場稼働率は70～100%と、前月より低下している。受注単価はじり安となり上昇は見込めない状況。
- ・動向…平成27年度は端境期が長引いたことで、山積みや価格で若干の崩れがみられたが、来年は先送りになった案件の稼働により仕事量の増加が期待できる。
- ・問題点…組合員外が鉄骨単価を安値で見積りしており、単価の値崩れが出てきている事への対応策を検討すべき。

■佐賀東部管工事協同組合 事務局長 本田健一 氏

前年度と比較すると受注額は半分程度である。前月比受注額は76%程度に減少している。今後、年内工事は多く望めないと思われる。

■佐賀県貨物自動車事業協同組合 専務理事 志波弘道 氏

- (1) 繁忙月の中、20日以降長距離は帰り荷を確保出来ていたが、地場では一般貨物、建材など荷動きが悪くなり、取扱高は前年に比し減少した。
- (2) 燃料単価は、原油市場の動向を反映し、比較的安値で推移している。

これからの行事・イベント

組合等

◎第16回うれしのあったかまつり

日 時：1月30日(土)～2月14日(日)

場 所：嬉野市 嬉野温泉本通り商店街一帯

お問合せ：一般社団法人嬉野温泉観光協会 TEL：0954-43-0137

概 要：嬉野本通り商店街を中心として、百句百灯華灯籠、和紙と灯りのオブジェが立ち並び来訪者の目を楽しませます。期間中には、旅館や飲食店では各店工夫を凝らした暖かい料理の特別メニューを味わうことができ、また郷土芸能や華麗な踊りなど見所盛りだくさんです。

◎第12回有田^{ひい}雛のやきものまつり

日 時：2月6日(土)～3月21日(月)

場 所：有田町 町内の各商店ほか

お問合せ：有田観光協会 TEL：0955-43-2121

概 要：姉妹都市のマイセン焼の雛人形や世界最大の磁器製のひな人形（有田焼）を展示。街なかでは、協賛店舗や窯元で、春を彩る有田焼雛人形が皆さまをお迎えし、協賛の飲食店では、限定の「御膳」メニューでもおてなし。また、今年も「焼物で出来た人形」を全国から募集し「陶ひなコンテストin有田」を開催いたします。有田焼創業400年を迎えますますます盛り上がる有田に是非足を運んでみてはいかがでしょうか。

◎磁器ひいな祭り

日 時：2月13日(土)～3月6日(日)

場 所：伊万里市 大川内山

お問合せ：伊万里鍋島焼協同組合 TEL：0955-23-7293

概 要：秘窯の里として全国的な知名度を持つ大川内山で磁器ひいな祭りが行われます。今年も、工夫を凝らした日玉展示を用意し、組合員一同で春を迎える季節に、来場者の皆様に暖かくお迎えいたします。

◎佐賀城下ひなまつり

日 時：2月11日(木)～3月31日(木)

場 所：佐賀市 柳町周辺、歴史民俗館、徴古館ほか

お問合せ：佐賀市観光協会 TEL：0952-20-2200

概 要：毎年恒例となり、年々来場者も増加している大好評の佐賀城下ひなまつり。鍋島小紋や鍋島家伝来のひな人形を展示し、春の訪れに彩りを添えます。期間中には佐賀市歴史民俗館や徴古館を中心として、地元商店街の各店舗や佐賀を代表する地場のお菓子屋さんなどが、さまざまな場所で関連イベントを行い、春を迎える慶びとともにひなまつり気分を堪能することができます。佐賀で日本の美しい歴史と伝統を堪能しましょう。

◎唐津のひいな遊び

日 時：2月20日(土)～3月6日(日)

場 所：唐津市内各所

お問合せ：唐津のひいな遊び実行委員会（古代の森会館内） TEL：0955-77-0510

概 要：「古代の森会館」「埋門ノ館」「旧唐津銀行」「魚や町ギャラリー」「中尾家屋敷」の市内5つの会場で、開催されるひなまつりイベント。唐津に古くから伝わるひな人形の展示が行われ、話題の唐津スイーツを巡るイベント等も開催予定です。

利用料無料!! 使わなきゃソン!

組合や組合員企業で行うイベントや行事など、県一円に広く告知したいものがありましたら中央会連携企画部までご一報ください!

編集雑記

毎回小欄を書くのに前年の原稿を見返すのですが、ちょうど一年前は「2015年」をキーワードにして、同年が舞台となっていたヒット映画「バック・トゥ・ザ・フューチャー」の事を書いていたようです。「未来」を予感させた2015年が終わり、始まった2016年。ここ最近の原油安が要因の一つと言われている年初来の株価の急落など、経済では波乱含みの年になる事を予感させます。一方で、大相撲では10年ぶりに日本人力士の琴奨菊が優勝するなど、文化・スポーツ分野では早速面白い話題も届いているものの、数十年に一度レベルの寒波が列島を襲い、当地佐賀県でも大いに影響が出ました。明るい話題ならば「サプライズ」はただ嬉しいものですが、災害・変動等となると実害を伴う為、ただ「驚いた」とばかり言うてはいられません。言うまでもなく、甘んじてそれが起こるのを待つ前に、予めリスク対応を考えておく事が重要です。中央会でも「BCP」(事業継続計画) 対応の為の支援等を行っておりますので、是非ご相談ください。(M)

COMMUNICATION NETWORK FOR MEMBERS

組合活性化情報誌 **Link** リンク NO.213

平成28年1月31日発行



佐賀県中小企業団体中央会

〒840-0826 佐賀市白山2丁目1番12号

佐賀商工ビル6階

TEL.0952-23-4598 FAX.0952-29-6580

URL <http://www.aile.or.jp> E-mail staff@aile.or.jp

Sienta

HOW DO YOU USE TODAY

今日を、どう使う？

今日はどこ行く？なにをする？みんなに平等に与えられた
今日という一日を、どれだけ自由に楽しく使えるか？
それはキモ子の問題じゃなく、クルマの問題だ。
どんな今日にも万端で、家族をバツとイメチェンする1台。
全く新しくなったシエンタで、みんなの今日をスポーツに！

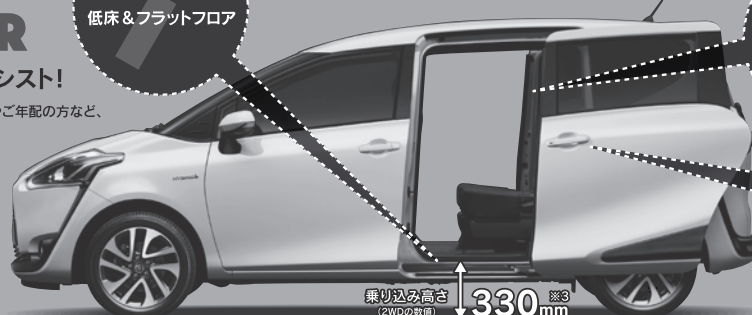


SLIDE DOOR

家族の乗り降りに、ナイスアシスト！

いつでも誰でもスムーズイン&アウト。お子様やご年配の方など、
家族の乗り降りをしっかりとアシストします。

※1. 破損を防ぐためにアシストグリップに重たいものをかけたり、
過剰の負荷をかけないでください。
※2. XCパッケージを除く全車に標準装備。HYBRID X、G、Gのいす
仕様車はデュアルとなり、HYBRID X、X、Xのいす仕様車は助手
席側となります。挟まれる物の形状や挟まれ方によっては挟み
込みを検知できない場合があります。開閉時は十分に注意
ください。
※3. 2WDの数値。4WDは350mm。数値は社内測定値。測定箇所によ
り数値は異なります。

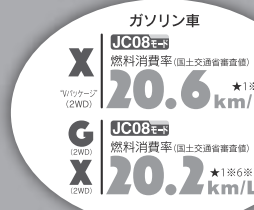


HYBRID & NEW ENGINE

ミニバントップレベル※4の低燃費！

ミニバントップレベル※4の低燃費を誇るハイブリッド車がついに登場！
また、ガソリン車には新高効率エンジン※5を搭載！お出かけの幅がグンと広がります。

※4. 2015年7月現在、トヨタ自動車調べ。 ※5. ガソリン(2WD)車 ※6. 4WD車は15.4km/L ※7. 車いす仕様車(2WD)は19.6km/L



LUGGAGE シートを格納するとあっという間に大収納空間に！

サードシートのダイブイン格納機構と、セカンドシートのシートアレンジと合わせて、広々とした荷室スペースが完成！
大きな荷物も余裕で積み込めます。

■ 自転車は大きさや形状によって積載できない場合があります。詳しくは店頭にスタッフにご確認ください。
■ 通常以外のシートアレンジをするとは走行できない場合や、ご注意ください。項目があります。必ず取扱書をご覧ください。
■ 走行時には、後方視界確保、荷物の転倒防止にご留意ください。
■ 写真は機能説明のためにボディの一部を切断したカットモデルです。
■ 車いす仕様車は仕様異なります。



★1. 国土交通省審査値。燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。

佐賀トヨペット株式会社

本社/〒849-0932 佐賀市鍋島町大字八戸溝150番地5 ☎(0952) 33-6111

(佐賀トヨペットホームページ <http://www.sagatoyopet.com>)

■ 佐賀店 ☎(0952) 33-5811
■ 伊万里店 ☎(0955) 23-8406
■ 鍋島マイカーセンター ☎(0952) 31-4561

■ 鳥栖店 ☎(0942) 81-5255
■ 武雄店 ☎(0954) 23-4178
■ 武雄マイカーセンター ☎(0954) 23-4661

■ 唐津店 ☎(0955) 72-8128
■ 鹿島店 ☎(0954) 63-1535

フリーダイヤル
0120-23-5671

県共済の各種プラン

営利でなく、相互の助け合いを目的に。

自動車総合共済 MAP

Mutual Automobile Policy

シンプルで
わかり易く
納得の
共済掛金

企業の経費節減、個人の家計費の軽減にお役にたつ共済事業
今、注目されています。



企業の経営者、従業員、ご家族の皆様にお役に立ちます。

建物等の災害には

- 火災共済
- 休業補償共済

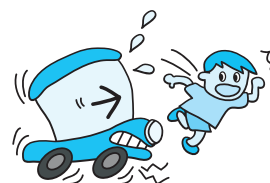


ケガや病気には

- 生命傷害共済
- 医療総合保障共済
- 傷害総合保障共済
- 所得補償共済
- 労働災害補償共済

車の事故には

- 自動車総合共済
- 自動車事故費用共済



お問合せ・お申し込みは 佐賀県中小企業団体中央会



〒840-0826 佐賀市白山二丁目1番12号

佐賀県火災共済協同組合

TEL0952-24-6984 FAX0952-24-6907

地域の未来を 中小企業とともに。



\\ 話せるパートナー //

商工中金

個人のお客さま向けの定期預金です。

高めの金利設定
(当金庫内比較)

固定金利の半年複利
(元本保証)

1年、2年、3年から
期間が選べる

\\ 安心、確実、お得に増やす //

定期預金

マイハーベスト

商工中金は、国とともに、中小企業をサポートする公的金融機関です。
お客さまとともに、地域活性化に全国で取り組んでいます。

佐賀支店 〒840-0801 佐賀市駅前中央 1-6-23
TEL: 0952-23-8121 <http://www.shokochukin.co.jp/>



人を思う。未来を思う。

商工中金